

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルハン新厚木店新築工事 店舗棟	階数	地上1F
建設地	神奈川県厚木市戸室5丁目1100-1、1164-1	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条の指定地域	平均居住人員	600人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,570時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年11月8日
敷地面積	6,242 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社朝日建築
建築面積	2,204 m <sup>2</sup>	確認日	2016年11月21日
延床面積	2,147 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社朝日建築



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 遊技場という使用目的が明確な建築物であり、外観、内観、平面プラン等が目的に合わせた仕様となっている。近隣に位置する公園に対し、景観を配慮した店舗棟の配置計画である。また交通の妨げにならないよう車両出入口を二つ設けることや営業室の配置により、近隣への配慮を成した計画となっている。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 換気について、基準法を十分に満足する換気量の確保により、空気質環境の向上を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 内観パースによる事前検討の実施により、遊技場内の照明計画と内装計画の一体化を図ることで利用者への配慮をしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物高さや建物周囲への積極的な緑化により良好な景観に配慮している。また視点場からの景観検証もあり、まちなみ・景観への配慮をしている。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備機器について、高効率設備の採用により環境負荷への配慮をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際、容易に取り外し可能なことから部材再利用の可能性向上を配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼器具の設置がなく大気汚染防止に配慮している。また適切な駐輪・駐車スペースの計画等により交通負荷抑制について配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される